

水稻生産農家の皆様へ

イネばか苗病を発生させないため、 皆様のご協力をお願いします！！

三ツ和、小田中地区周辺は水稻の種子産地です。「イネばか苗病」は種子伝染性の病害で、万一採種ほ場で発生してしまうと、そのほ場の収穫物全てが種子として使用できなくなるため、採種農家は細心の注意をはらって栽培しています。また、「イネばか苗病」の病原胞子は、近隣の水田に飛散するため、水稻種子産地の周辺では「イネばか苗病」が発生しないようにする必要があります。****

ご自身のほ場で「イネばか苗病」が発生しないよう、以下の対策に御協力をお願いします。

「イネばか苗病」対策のポイント

①正しい種子消毒方法を確認し、効果の高い種子消毒剤を使用

- ・効果の高い薬剤である「テクリードCフロアブル」を使用してください。
- ・JA 発行の防除基準、農薬のラベル（使用方法）をよく読んでください。
- ・同じ浸漬槽に自家採種した種子を絶対に入れないでください。
- ・液温が 15℃以上にならないようにしてください（浸種中も同様）。

<2024 年 3 月 13 日現在の登録内容（2024 年 3 月 15 日 JPP-NET 確認）>

薬剤名	作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
テクリードCフロアブル	稲	ばか苗病	200倍	24時間種子浸漬	浸種前	1回

農薬を使用する際は、最新の登録情報を確認して使用してください。

②種子更新

- ・種子更新を行うことで「イネばか苗病」の発生リスクが下がります。

万が一、育苗中に写真Aの症状が見られたら、発病苗の廃棄をお願いします。

6～7月に写真Bの症状を水田で見かけたら、JA 担当まで連絡ののち、発病株を株ごと抜き取る等、適切な処分をお願いします。



写真A【感染苗の特徴】
葉色が周りの苗より
淡く、徒長している



写真B【感染株の特徴】
葉色が周りの株より
淡く、徒長している

○詳しくはお近くのJA・農業農村支援センターへお問い合わせください。

長野県・(一社)長野県原種センター・JA全農長野・JA中野市